

能登半島地震時の活動について

災害支援ケアマネジャーフォローアップ研修会にて

◆被災高齢者の把握

- 被災された在宅の要介護高齢者等に対し、被災高齢者等把握事業を活用し、ケアマネジャーなどが個別訪問等により、早期の状態把握や必要な支援へのつなぎ等を実施。

訪問事業における課題等

- 被災高齢者を把握する場合、介護支援専門員（専門職）としての役割が大きい
- 地元の介護支援専門員が参加することで、実態が把握しやすい
- 全国からの支援者（介護支援専門員など）の受け入れ体制、日々の参加の調整が大変
- 毎日の実績や人員の確認など後々の報告するための整理が大変
- 要支援者への要望とそのニーズに合った支援へのつなぎ方が求められる
- 訪問時の情報収集（アセスメント能力）するための接し方が重要



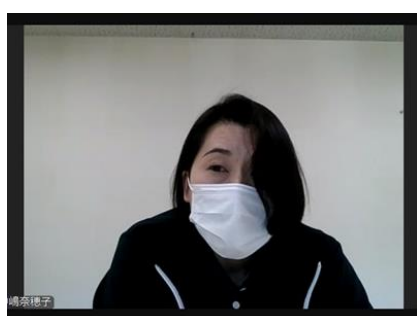
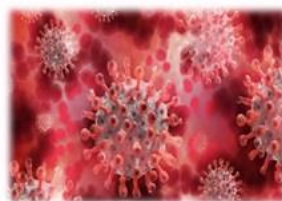
介護支援専門員（専門職）として

災害時における地域の高齢者・家族への支援する役割が重要となる



感染予防のために、
できること。

All we have to do to prevent infection is simple.



令和6年度 第7回研修会の開催報告

内容：災害時の備えを考える～能登半島地震から1年～

講師：松阪市民病院訪問看護ステーション

管理者 中嶋奈穂子氏

12月19日に研修を開催しました。

研修参加者は67名（支部会員のみ）でした。

三重県介護支援専門員協会 松阪支部